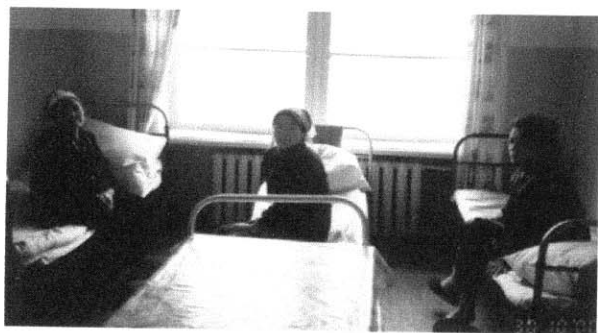
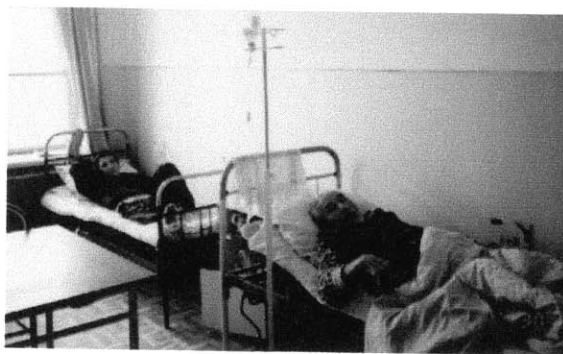
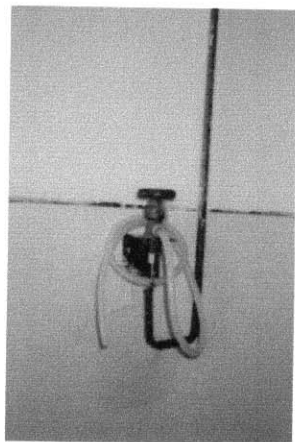




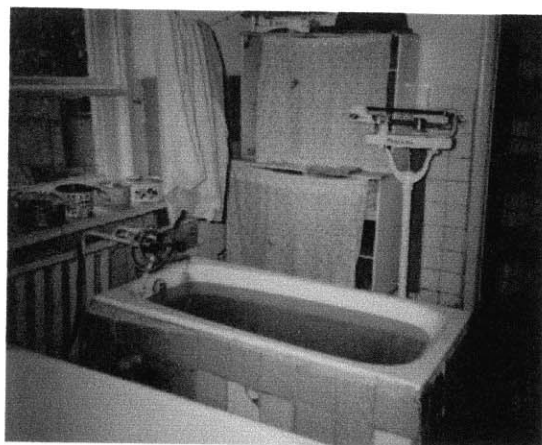
写真(15)：旧病院の産婦人科病室。



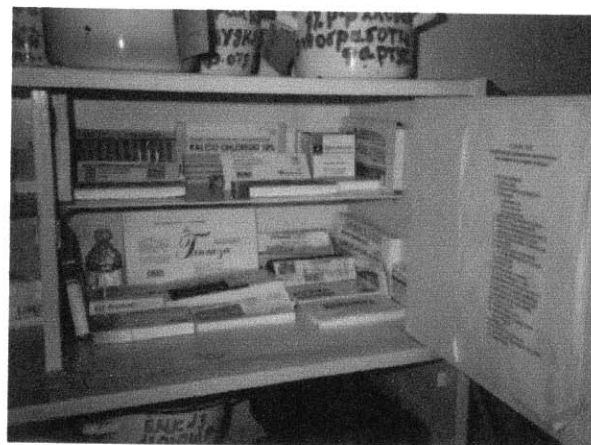
写真(16)：旧病院の整形外科病室。



写真(17)：病室に配管されている酸素。



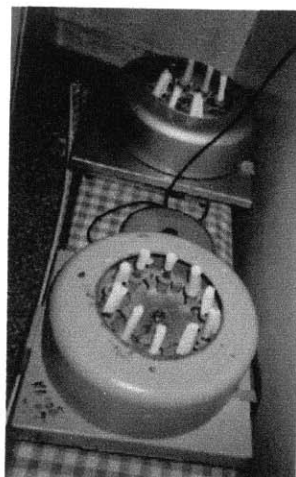
写真(18)：救急外来。汚れを落とす風呂があるのが面白い。



写真(19)：救急外来の救急用医薬品。



写真(20)：旧病院の検査室。



写真(21)：血清分離用遠心機。



写真(22)：X線フィルム現像室。現像は手現像でやっている。



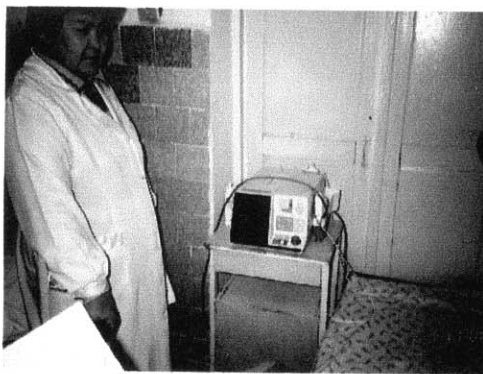
写真(23)：血液ガス分析器と電解質測定装置



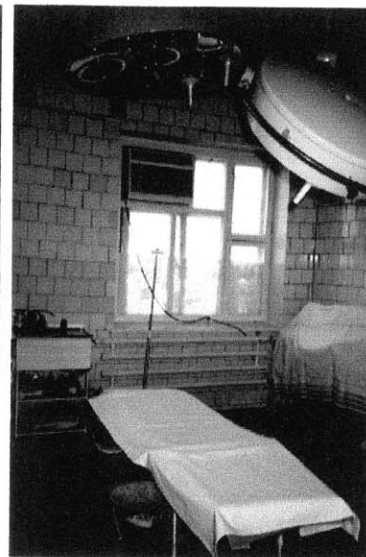
写真(24)：新病院の未熟児室



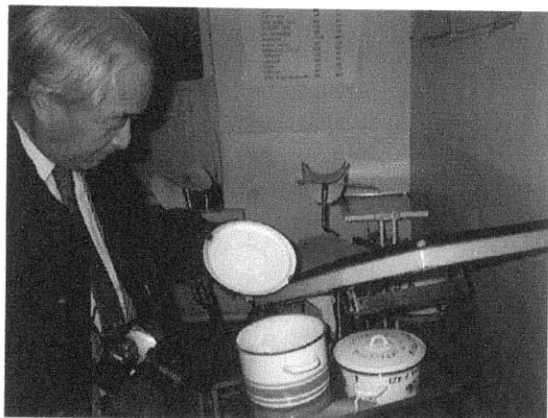
写真(25)：クジルオルダ市より車で1時間程のところに
あるシルダリア地区中央病院。TSRBの一つで170床の
病院である。



写真(25)：左の病院唯一ののエコー。



写真(26)：左の病院の手術室。



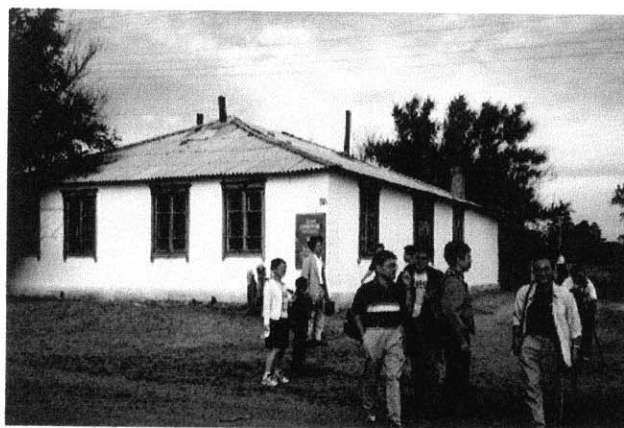
写真(27)：シルダリア地区中央病院の産婦人科外
来。



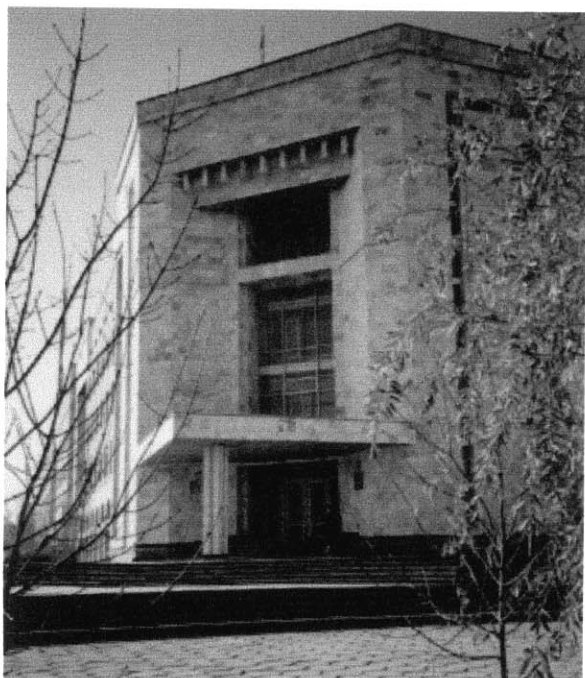
写真(28)：シルダリア地区にある30床の村落病院、い
わゆるSB。



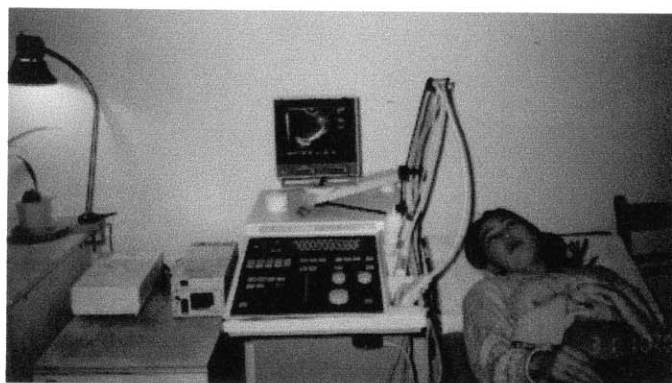
写真(29)：シルダリア地区にある村落診療所(SVA)の
前で、白衣を着ている人達が同診療所のスタッフ。



写真(30)：今回は訪問できなかったが、農村部にはSVA
よりさらに小規模のFAPと呼ばれる看護婦だけが駐在し
ているステーションがある。写真はセミパラチンスクの
FAP。



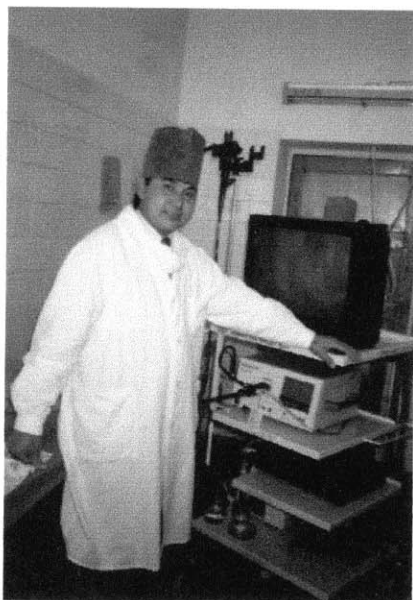
写真(31)：クジルオルダ市にある州立診断センター。旧ソ連邦の医療システムの特徴は、病院や診療所の機能と診断部門が分離していることである。この建物の中にクジルオルダ州保健省もある。



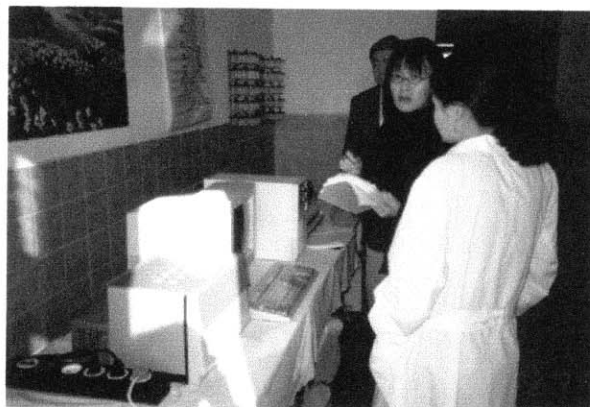
写真(32)：州立診断センターは予算的に州内ではこれまで恵まれており、診断機器は比較的新しいものがある。



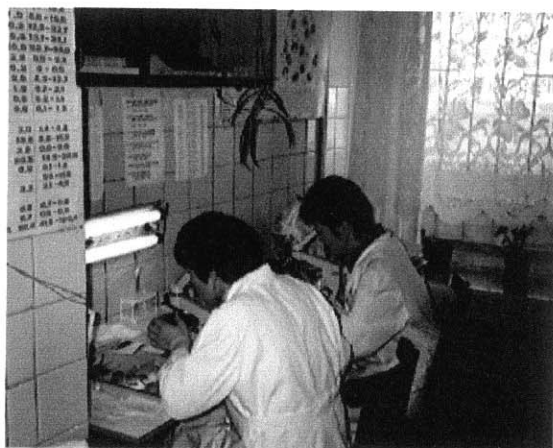
写真(33)：最新鋭のCTスキャン。



写真(34)：内視鏡部門。上部消化管が中心だが、日に10-25症例程検査しているとのこと。



写真(35)：ホルモン測定装置。



写真(36)：血液検査室。自動分析装置は無いので、血球数は目で数えている。

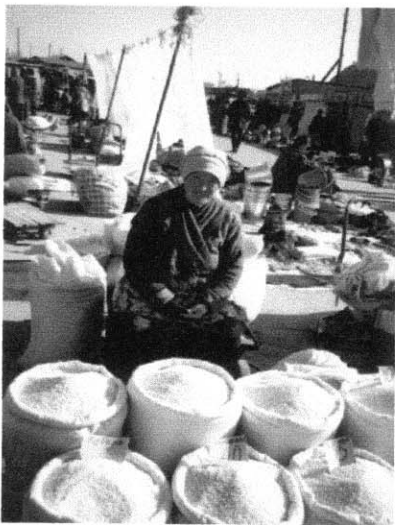
クジルオルダの風景



写真(37)：クジルオルダ州は見渡す限り山陰のない大草原で、その中心をシルダリア河が流れている。



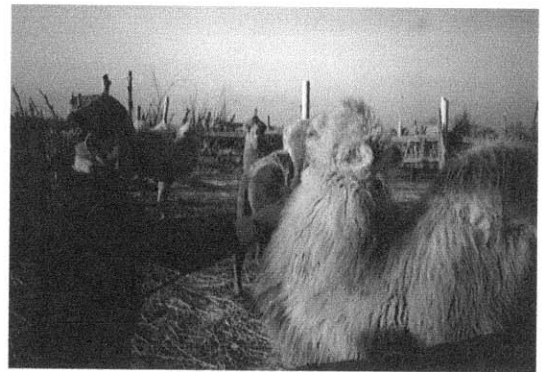
写真(38)：シルダリア川にかかる橋。



写真(39)：カザフの米作地域であり、バザールでは米を売っている。



写真(40)：馬で遊ぶ子供達。遊牧民の伝統を今でもひいている。



写真(41)：クジルオルダの農民と放牧しているラクダ。市内でも牛や羊やラクダがうろついている。



写真(43)：クジルオルダの市営住宅で、子供達と。



写真(42)：クジルオルダ市で最も賑やかなのはバザールである。



写真(44)：同市唯一の繁華街？。